

経営学部では、学内でのレディス・ファッションの店舗経営など、実践科目を開講しています。次年度は、新設科目を追加し、以下の(1)～(5)の科目を実践科目として開講しますので、積極的に履修してください。ただし、これらの科目を履修する際は、科目ごとに注意点がありますので、以下をよく読んでください。

- (1)地域ビジネス実践 (2)環境ビジネス実践 (3)地域ビジネス論 (4)経営学特講—メディアビジネス実践…予備登録が必要な科目です。下の注意事項をよく読んでください。
- (5)図書館経営論…事前学習指導の必要な科目です。該当ページをよく読んでください。

## 予備登録についての注意事項

- 履修希望者は、1月17日～3月8日までに、予備登録申込み先に志願書を提出してください。
- 提出は、メールにワードファイルを添付してください(紙での志願書は受け付けません)。
- 志願書には、①希望する科目名、②自分の学籍番号と氏名、③「なぜこの科目を履修したいのか」という志望動機の3つについて記述し、400字程度にまとめてください。
- 予め志願書を提出した履修希望者の中から、履修者を選考します。3月17日に選考結果が大学ホームページ(教務課 授業情報ホームページ)に掲載されます。
- 合格者は自動的に履修登録されます。
- 「演習」等の時間割と重複した場合は、履修することができなくなります。
- メールの送信には、大学のアドレスを使用し、件名に科目名を入れてください(例、「環境ビジネス実践履修について」など)を入れてください(携帯アドレスからの送信の場合、スパムメールの扱いになる可能性があります)。なお、メールが届いた場合、担当者から着信確認のメールを送信しますので、それが届いていない場合、未着信の可能性がありますので、再送してください。

# 学内でレディスショップを経営！！

## 「地域ビジネス実践（2単位）」

＜目的＞店舗経営の体験を通じて、実践的な経営の力を身につけます。

＜内容＞大学祭に婦人服・アクセサリーの店舗を出店します。そのための店舗企画、マーケティング分析、広告、仕入れ、販売、在庫管理、組織運営、情報利用などをすべて、学生たちで行います。商品として和泉特産品（人造パールなど）を扱うことにより、地場産業に関する知識も修得します。

＜担当＞牧野の予定ですが、店舗経営に関するノウハウについては株式会社玉屋さんのプロの方々から、地場産業については和泉市役所の方々から指導を受けます。なお、成績評価は、牧野が行います。

＜対象＞08～10B生（経営学部生のみ）

＜人数＞20名程度の学生を予定。予備登録の応募者の中から選考します。

＜開講時期＞秋学期（9月～11月）。火曜日の4時間目・5時間目を予定しています。

＜注意事項＞大学祭の3日間に店舗を出店するので、前日の準備および大学祭中の1日以上は参加することが必要です。（シフト制なので時間は融通が利きます。）

＜予備登録申込先アドレス＞ 牧野：ninako-m@andrew.ac.jp

# 環境NPOでインターンシップ！！

## 「環境ビジネス実践（2単位）」

＜目的＞ 環境NPOでのインターンシップを通じ、環境ビジネスの現場を学びます。

＜内容＞ インターンシップの内容は、①温暖化など地球環境問題に関する調査・研究、②環境問題に関するデータ作成、③自然エネルギーに関する調査・研究、特に風力・太陽光発電事業の調査・研究、④各種環境関連のイベント等への参加などです。

＜インターンシップ先＞ 大阪府中央区内に本部のある「特定非営利活動法人 地球環境と大気汚染を考える全国市民会議(CASA)」。

同NPOは、国連経済社会理事会(ECOSOC)の登録NGO(ロスター)です。<http://www.bnet.ne.jp/casa/index1.htm>

＜担当＞ インターンシップ先の担当者が環境問題やビジネスについて講義し、インターンシップ期間中、アドバイスを行います。ただし、成績評価は松尾が行います。

＜対象＞ 08～10B生(経営学部生のみ)

＜人数＞ 合計20名以内限定する予定です。予備登録の応募者の中から選考します。

＜開講時期＞ 開講時期は、夏休み期間で、3～5日間程度を1クールとして、1クール2名程度を同NPOに派遣します。履修学生は、その期間中、毎日同NPOにおもむき、上記の取り組みを行います。また、この期間中に様々な現地調査にも参加します。なお、履修登録単位数、成績発表については秋学期の扱いとなりますので注意してください。

＜注意事項＞ 成績評価は、実習参加態度、レポート提出、実習内容のプレゼンテーションによって行います。また、ワード、エクセル、パワーポイントが使えるようにしておいてください(基本的な操作だけで構いません)。

＜予備登録申込先アドレス＞ 松尾: [jun5959@andrew.ac.jp](mailto:jun5959@andrew.ac.jp)

# 地域活性化の現場に学ぶ

## 「地域ビジネス論（2単位）」

＜目的＞この科目の目的は、地域活性化の現場に学ぶことで、受講生が将来的に地域の活性化に何らかの形で貢献する人材に成長することを目的としています。

＜内容＞地域活性化や地域ビジネスについて学ぶためには、様々な知識や理論を学ぶだけではなく、実際に現場では、どのような取り組みが進められているのか、どのような課題を持っているのか、などについて理解することが重要です。この科目では、地域に密着したビジネスを展開している地元企業や団体のトップ、地域の文化・芸術の担い手、行政機関の担当者などが、現場の状況や課題、さらには将来展望などを講義します。

＜担当＞ 各回の授業は、大阪府下の地元企業・団体のトップ、地域の文化・芸術の担い手、内閣府などの行政機関の担当者が講義しますが、成績評価は、松尾が行います。

＜対象＞09～10B生（経営学部生のみ）

＜人数＞ 具体的な人数は未定ですが、50名以下の少人数に限定する予定です。予備登録の応募者の中から選考します。

＜開講時期＞ 秋学期

＜注意事項＞ 課題レポート提出や課題発表などによって評価する予定です。単に出席しているだけでは、評価しません。また、新聞、雑誌、ウェブ、テレビ番組等で、地域活性化や地域ビジネスに関する記事やニュースにできるだけ関心をもって講義に臨んでほしいと思います。

＜予備登録申込先アドレス＞ 松尾: [jun5959@andrew.ac.jp](mailto:jun5959@andrew.ac.jp)

# 就活に役立つ！！

## 「経営学特講ーメディアビジネス実践（2単位）」

＜目的＞新聞に親しみ、新聞記事の内容を理解し、文章の書き方の基本を学びます。就職活動に必要なエントリーシートをきちんと書けるようにすることも目標です。さらに、世の中の仕組みや時事問題についても解説し、就職試験対策も行います。

＜内容＞ 現役の朝日新聞記者が、朝日新聞の記事を教材にして、文章の「読み・書き」のノウハウを懇切丁寧に指導します。確かに初めは少しつらいかもしれませんが、慣れれば必ずおもしろくなります。きちんとした文章の読み書き能力を身につけることは、社会生活上、とても重要です。就職活動で問われるのもこの能力です。企業が新聞も読まない人、読めない人、きちんとした文章を書けない人を採用することはありえません。新聞なんて読んだこともない人にこそ、受講してもらいたい授業です。就職活動に必須のエントリーシートの書き方も指導します。

＜担当＞ 朝日新聞の現役記者が担当し、成績評価も行います。ただし、予備登録の窓口は、松尾です。

＜人数＞ 人数は未定ですが、少人数に限定しますので、予備登録が必要です。

＜開講時期＞ 春学期

＜注意事項＞ 受講期間中、教材として朝日新聞を利用しますので、受講期間中の購読を必須条件とします。

＜購読方法＞ 開講初日に申込用紙に新聞の配達先や氏名など記入し、担当者に提出することになります。また、そこで新聞購読料を支払うことになります。購読料は、4～6月の3か月分で、合計7500円です（1か月：2500円）。なお、この料金は、通常の料金（1か月分3925円）から大幅に割引していただいています。すでに朝日新聞を購読している人は、新規に契約する必要はありません。

＜予備登録申込先アドレス＞ 松尾: jun5959@andrew.ac.jp

# 公共サービスの実践的マネジメントを学ぶ！！

## 「図書館経営論（2単位）」

＜目的＞公立図書館の理論と実務についての学修、および現場での体験を通じて、公共サービスについての実践的なマネジメントの力を身につけます。

＜内容＞下記にあげた内容の授業を行うだけでなく、夏期に大阪府立図書館、堺市立図書館、和泉市立図書館など、公立図書館の現場に出向き、公立図書館サービスの現実と課題について身をもって学んでいただきます。

＜講師＞山本の予定ですが、公立図書館の現場の職員からも話題を提供していただく方向で調整しています。

＜人数＞経営学部以外の他学部生の司書課程履修登録学生については、夏期の公立図書館実地体験プログラムへの参加は予定していません。

＜開講時期＞秋学期。木曜日開講の予定をしています。

＜注意事項＞①夏期の現場実習は受入れ機関との調整になります。

＜注意事項＞②予備登録は不要ですが、事前学習指導が必要ですので、履修希望者は開講までに担当者にメールで連絡してください。個別に指導します。

＜担当者連絡先＞ 山本:june01@andrew.ac.jp